

住木・梅澤記念賞

公募のお知らせ

我が国の抗生物質研究の先駆者である、住木諭介博士（第4代理事長 1963~1970年）及び梅澤濱夫博士（第5代理事長 1970~1986年）の業績を永く称えるため、1987年に日本感染症医薬品協会の学術賞として住木・梅澤記念賞が設けられました。

本賞は、世界に先駆ける研究を推進することを目的に授与され、受賞者には受賞後の独創的な研究が期待されるという特徴のあるものとなっています。

本賞授与の基金は、両博士の共同研究により実用化されたプラストサイジンS、ミカマイシン、バリオチンの特許料を基に設立されましたが、本賞選考委員会初代委員長の故米原弘博士は私財の一部を本賞の基金に提供され、本賞の永続的な授与に配慮されました。

また、2005年6月、本賞存続のための協賛金を募ったところ、下記15社よりご協力をいただき、2006年度以降、新たな規約により本賞授与を開始することとしたところです。

記

アステラス製薬株式会社	三共株式会社	塩野義製薬株式会社
第一製薬株式会社	大日本製薬株式会社	明治製菓株式会社
エーザイ株式会社	杏林製薬株式会社	協和発酵工業株式会社
住友製薬株式会社	大正製薬株式会社	武田薬品工業株式会社
中外製薬株式会社	日本化薬株式会社	三菱ウェルファーマ株式会社

(2005年6月当時の社名を記載)

募集要領

(1) 対象研究業績

抗生物質を始めとする生物活性物質に関連した優れた研究業績であって、将来の発展を期待しうるもの。ただし、本会の刊行誌である The Journal of Antibiotics 又は The Japanese Journal of Antibiotics に少なくとも1報は発表されていること。また、他の学会賞等、本賞と同等の賞の受賞対象となっていないこと。

(2) 応募資格

教育研究機関、医療機関、企業その他の研究施設等に所属し、現に研究に従事している研究者又は研究グループ。

(3) 応募方法

推薦者又は所属長の推薦状（必須）を添え、下記の申請書類を4月1日～6月30日までに提出する。

① 申請書類

- ・ 申請書（別添様式）正本1部
- ・ 推薦状（別添様式）正本1部
- ・ 候補者の履歴書（別添様式）正本1部
- ・ 研究発表の一覧表 1部
- ・ 研究オリジナル論文（総説は不可）5編以内を各8部（別刷又はコピー）
- ・ 今後の研究の展望（別添様式）1部

② 提出場所

公益財団法人 日本感染症医薬品協会 事務局

(4) 選考方法

応募があった場合には、原則として8月末日までに、選考委員会で授賞対象2件以内（該当者がいない場合もある）を決定し、理事会に報告する。

(5) 授賞発表

- ① 理事会に報告後、申請者に採否の結果を連絡する。
- ② 原則として11月に授賞式・講演会を開催し、賞状、賞牌及び副賞として研究助成金100万円を贈呈するとともに、受賞者は受賞研究内容の発表講演を行う。

(6) 本会刊行誌への投稿

受賞者は、受賞対象研究業績に関する総説を本会刊行誌に投稿すること。

(7) その他

副賞(100万円)に関する経理は所属機関による機関経理とする。

また、受賞者が国外に居住する場合、受賞講演に要する旅費のうち、国外の居住地と国内との間の旅費は支給しない。